

## 平成 29 年度デマンド交通社会実験の結果について

### (1) デマンド交通社会実験について

#### ① 実施経緯

過去の定時定路線型の社会実験において、利用者数と事業費が見合わなかったことから、予約に応じた運行をすることで、コストを削減する手法を検討するため、タクシー協会の協力を得て、デマンド交通の社会実験を行った。

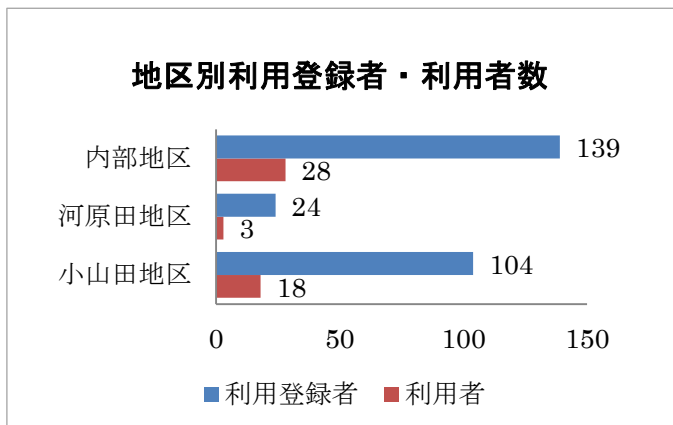
#### ② 実施内容

タクシーを用いたデマンド交通として対象者及び運行対象地区を公共交通不便地域に限定して実施した。

期 間	平成 30 年 2 月 18 日(日)～平成 30 年 3 月 31 日(土) (42 日間)	
運行形態	事前にタクシーを予約するデマンド方式 (運行管理は四日市タクシー協会へ委託)	
利用券の配布	事前に利用登録をしていただいた方に 1 回の利用につき 500 円を割引する利用券を 16 枚/人(8 往復分)を配布	
運行時間	午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分	
対象地区	河原田・内部・小山田地区及び指定施設	
指定施設	商業施設	イオンタウン四日市泊、日永カヨー
	医療施設	市立四日市病院、三重県立総合医療センター
	鉄道駅	近鉄四日市駅、JR 四日市駅、あすなろう鉄道西日野駅
実験区域・対象	河原田・内部・小山田地区において、従来からの公共交通不便地域に加え、今回の実験は、四日市鈴鹿線が平成 30 年 3 月末で廃止されることや、長沢線が平成 30 年度中に廃止が見込まれていることを踏まえ、下記の住民を対象として実施 ①平成 30 年 3 月末日において 75 歳以上の方 ②平成 30 年 3 月末日において 65 歳以上かつ運転免許非保有者の方 案内者数：3,797 人* (内 75 歳以上 1,863 人) ※運転免許返納者を把握できないため、対象区域内の全ての 65 歳以上の方に案内を送付	

### (2) デマンド交通社会実験の結果

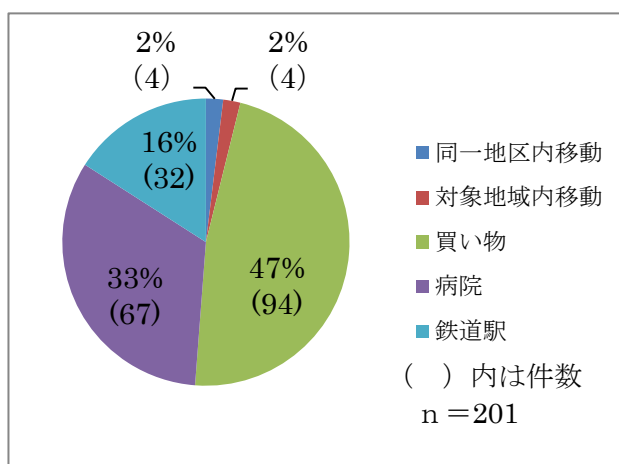
- ・利用登録者 267 人
- ・登録者の内、利用者は 49 人
- ・延べ利用件数は 201 件



### 利用回数

乗車回数	人数
1～5回	38人
6～10回	5人
11回以上	6人

### 利用目的



利用目的については、「買い物」(47%)が最も多く、次いで「病院」(33%)、「鉄道駅」(16%)の順となった。また、「買い物」については「日永カヨー」、「病院」については「県立医療センター」、「鉄道駅」については「近鉄四日市駅」での乗降が最も多かった。

実験を行うに際し、デマンド交通による高齢者の移動先として、商業施設や病院へ、週1回程度の利用を想定しており、移動先については概ね想定どおりの結果であったが、利用回数では想定を下回る結果となった。

## (3) アンケート及びヒアリングの結果

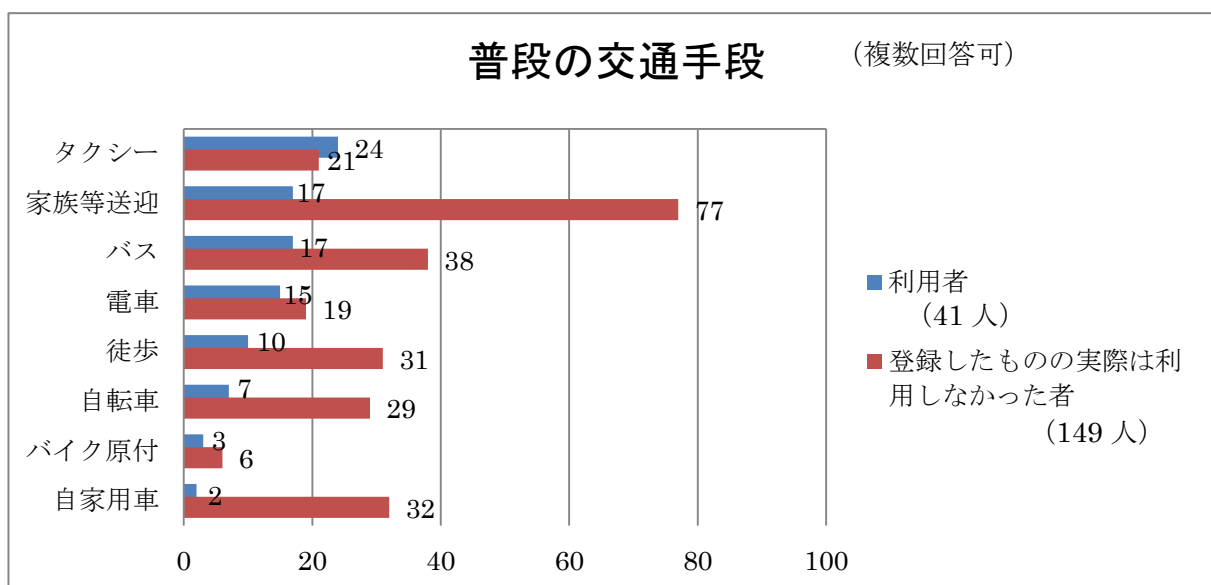
### ①利用者及び登録したものの実際は利用しなかった者について

実験結果の分析を進めるため、利用者(49名)及び登録したものの実際は利用しなかった者(217名\*)へアンケート及びヒアリングを実施した。

(※当初218名であったが1名死亡のため、217人となった)

回収率	利用者	83%	(41人)
	登録して非利用者	68%	(149人)

## アンケート結果から



利用者については、普段、タクシーを利用している者（24人）が多かった。反面、利用登録をしたものの実際は利用しなかった者は、普段、タクシーを利用する割合が低く、家族等による送迎で移動している者が半数以上であることに加え、普段、自家用車を利用している者についても、多い傾向であった。

### デマンド交通を利用しなかった理由（複数回答可）

家族や知り合いが送迎してくれるから	69人
他に交通手段があり、利用する必要がなかったから	24人
タクシー会社へ電話して予約するのが面倒だから	20人
500円の割引は安すぎる	53人
行きたい場所が運行対象外だった	33人
乗りたい時間が対象外だった	21人
利用方法やルールが分かりづらかった	16人
タクシー会社へ電話したが、予約がとれなかったから	12人
無回答	13人

利用登録をしたものの実際は利用しなかった者のうち「家族や知り合いが送迎してくれるから」、「他に交通手段があり、利用する必要がなかったから」のように、タクシーを利用しなくても移動手段があると回答した割合が多い傾向であった。また、タクシー会社へ電話したが予約がとれなかった者に聞き取り確認したところ、朝の時間帯に電話したが、タクシー会社につながらなかったことや、予約がいっぱいで断られたことが挙げられた。

## ヒアリング結果から

利用者アンケートでヒアリング訪問してもよいと回答した19名にヒアリングをし

た結果、タクシーを普段から利用する者は12人で、普段タクシーを利用しない者は7人であった。

### ヒアリングを実施した利用者の年齢別人数

	60代	70代	80代	計
普段タクシーを利用する者	1人	5人	6人	12人
普段タクシーを利用しない者		6人	1人	7人
計	1人	11人	7人	18人

70代では普段からタクシーを利用する者の割合が半々であるが、80代ではタクシーを利用する者の割合が大きくなる。

### ヒアリングした利用者の声の概要

- ・ 普段タクシーを利用する主な利用目的は病院
- ・ 月に数回利用する者が大半であるが、毎日利用する者もいる
- ・ タクシーの予約については前日までに予約する人がほとんどである
- ・ 当日では予約がとれないこともあるから早めに予約する人が多い
- ・ 病院の診察時間を昼間にしてもらってタクシーの予約をとりやすく工夫する
- ・ 市内のタクシー会社では7時～9時半の時間には来てくれなかった経験から、普段は市外のタクシーを利用する

## ②タクシー事業者について

四日市タクシー協会事業者にアンケート及びヒアリングを実施した結果、タクシー保有台数と乗務員数は以下の表のとおりである。

### タクシー保有台数、乗務員数及び稼働率の高い時間帯

	保有台数	乗務員数	稼働率の高い時間帯		
			1位	2位	3位
A社	44台	49人	12:00～15:00	9:00～12:00	6:00～9:00
B社	148台	193人	9:00～12:00	15:00～18:00	6:00～9:00
C社	24台	40人	6:00～9:00	18:00～21:00	21:00～
D社	30台	35人	6:00～9:00	18:00～21:00	15:00～18:00
E社	56台	60人	6:00～9:00	15:00～18:00	12:00～15:00

稼働率の高い時間帯については、「6:00～9:00」に企業への送迎が多いことから、この時間帯を上位に挙げた事業者が多くなった。また、四日市市内でも運行対応が困難な地域があると5社すべてが回答し、市内南西部の地域が挙げられた。

四日市タクシー協会の5社のうち、3社では、70歳以上で会員登録をした者へ運賃を1割引にするサービスを行っている。昨年度のデマンド交通社会実験では他の割引サービスと併用可としたため、500円割引の利用券とタクシー会社の会員割引や障害者割引などを併用して活用する人が多かった旨の回答を得た。

#### **(4) 社会実験を通じて明らかになった課題**

タクシー業界では、タクシー乗務員の成り手が少なく、乗務員の確保が困難な状況にあり、タクシー台数の確保が難しくなっている。このような中で、配車場所・待機場所から遠く離れた場所へのタクシーの配車は困難な場合があることが、アンケート結果で明らかになった。タクシーを活用したデマンド交通で本市においてどの程度のサービスが提供できるのかを見極める上で、運行時間、運行区間等を精査していく必要がある。